
ライス200

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ライス200

【Nコード】

N3869Z

【作者名】

ごはんライス

【あらすじ】

ライス200。第1回からいきなり200になってない。とーよー200の影響です。発想を磨く訓練。長編は技術を磨く訓練です。中編はバランス感覚を磨く訓練。では、どうぞ！

屁言葉

華子が屁をこいた。オレはイラつときた。華子が美人だから屁が合わない。無論、女子だつて人間だから屁くらいこく。しかし男子の前ではこかない存在でいてほしい。だいたい男子が屁をこけばツッコミやすいが、女子がこくとどう対応すればいいかわからるのでイラつく。黙っていても臭いだけだし、言えば言ったで女子が傷つく。オレは華子がまたぶつとこいたので、オレもぶつとこいた。屁リプライである。

「豆ちゃん好き」

「華子好き」

なのか。

「豆ちゃんバッグ買って」

「華子。調子に乗るな」

なのか、いまいち屁だからわからん。

ぶつ。

ぶつ。

ぶつ。

ぶつ。

だんだん部屋の空気が黄色くなってきた。

ライス2000「ノックの音が」(前書き)

また2000にならんかった。

ライス200「ノックの音が」

ノックされたんで仕方なくドアを開けた。「またお前か」オレはイライラする。華子だ。こいつはなぜかわからんが引きこもりのオレに恋してやがる。確かにかわいい顔しとるがオレは完全に二次元派なのである。アニメの美少女は言うこと聞くからめんどくさくないけど、生身の女はすぐに泣くから鬱陶しい。

「おいしい？」

「なんだよこのサンドイッチ。中に納豆なんか入れやがって気持ちが悪い」

「ひつく。ひつく。ふええん」

「ああもう。泣くんじゃないよ！」「頭をよしよしする。」

くそ。不細工だったらぶん殴ってるぞ。

納豆にマヨネーズってどういうセンスだよ！

華子がゴリラみたいな顔だったら、竹刀でめった打ちにしとるぞ。

「華子、豆ちゃんのお嫁さんになりたいな」

「引きこもりだから無理だよ」

「あたしが養う」

「男のプライドが許さん。生意気いって追い出すぞ」

「ひつく。ひつく。ふええん」

なんだよオレ間違ったこと言っていないだろ！ヒモになる方が非常識だろクソ……。

華子が、エロマンガを見ながら、あたしに似てるねと微笑む。「ふん。まあ顔はな。でもマンガのキャラクターは泣かないけど、華子は泣くからうざいよ」

華子がまた泣きそうだ。めんどくさいやつめ。

「華子、今日のキャミソールかわいいね」

ニコニコしやがった。うぜえ。

でも確かにキャミかわいい……くそ。

オレは早く就職したい。すれば自信が出て結婚できる。

全国の引きこもりはどういう気持ちでいるんかな。

ライス2000「ノックの音が」（後書き）

引きこもり問題は深刻。特に団塊の世代が引退し始めて労働力が不足している。引きこもりが戦力にならんのは痛手だ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3869z/>

ライス200

2011年12月13日02時08分発行